

「徳島市まちづくり総合ビジョン」の振り返り

1 はじめに

本市では、令和8年度を目標年次とする「徳島市まちづくり総合ビジョン」を平成28年度に策定した。この総合ビジョンでは、「笑顔みちる水都 とくしま」を将来像に掲げ、その実現に向けて、基本目標（3）・政策（9）・施策（35）から成る施策体系を構築し、市政を総合的・計画的に推進してきた。

このたび、新たな「総合ビジョン」（令和3年度開始）の策定にあたり、現在の「総合ビジョン」に位置付けられた施策の状況を確認し、それにより得られた知見をいかして策定に取り組んでいくことが必要であるため、現在の「総合ビジョン」を振り返ることとする。

2 「徳島市まちづくり総合ビジョン」の進捗状況

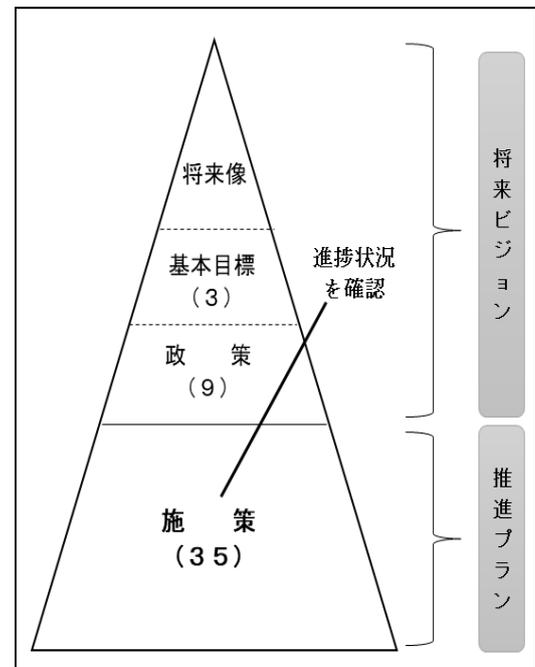
(1) 振り返りにあたって

現在の「総合ビジョン」では、実施計画にあたる「推進プラン」において、「子ども・子育て支援の充実」など35の具体的な施策を定めている。

施策は、基本目標（「つなぐ」まち・とくしま、「まもる」まち・とくしま、「おどる」まち・とくしま）の下に位置付けられており、これらの施策の進捗状況を確認することで、現在の「総合ビジョン」の振り返りを行うこととする。

全ての施策には、当該施策が適切に推進できているかを検証するための成果指標を設定している。

成果指標の目標年次は令和8年度であるが、各成果指標の現状値を踏まえた検証を通じて、施策の進捗状況を確認した。



(2) 進捗状況の基準

各成果指標の進捗状況は、現状値を確認のうえ、成果や今後の課題等を踏まえた検証を行い、次の4段階の基準により、総合的に判断した。

- S：目標（令和8年度）を既に達成
- A：目標（令和8年度）の達成に向けて順調に進捗
- B：目標（令和8年度）の達成には課題がある（改善が必要等）
- C：目標（令和8年度）の達成が困難（現状値が当初値より低下等）

(3) 成果指標の進捗状況（基本目標別）

基本目標	進捗状況				
	S	A	B	C	合計
「つなぐ」まち・とくしま 【健康福祉、教育等】	1 (2.6%)	16 (41.0%)	10 (25.6%)	12 (30.8%)	39
「まもる」まち・とくしま 【安全・安心、環境等】	1 (2.3%)	21 (48.8%)	19 (44.2%)	2 (4.7%)	43
「おどる」まち・とくしま 【産業、都市等】	1 (2.0%)	18 (36.7%)	17 (34.7%)	13 (26.5%)	49
全体	3 (2.3%)	55 (42.0%)	46 (35.1%)	27 (20.6%)	131

※測定不能であった1件の指標を除く

3 振り返り結果

- 全体で131の成果指標がある中、「A：順調に進捗」とした成果指標が最も多く、施策を適切に推進することで、これまでに一定の成果があったものと考えられる。

特に、「教育・防災・環境」などの分野は、全体的に進捗状況が良好であり、これらの施策は、新たな「総合ビジョン」においても、成果を継承できるよう努めることが求められる。

- 一方で、「B：課題あり」・「C：達成困難」とした成果指標を足すと、半数をやや超えている。

目標年次が令和8年度と5年以上先であり、取組内容の見直しなど試行錯誤を重ねながら施策を推進している途中の段階であるものの、現時点で成果指標が芳しくない状況にある施策は、必要な見直しについても検討しつつ、新たな「総合ビジョン」の策定に取り組むことが必要である。

- また、基本目標別にみると、「まもる」まち・とくしまの施策が比較的、順調に進んでいる。それ以外の基本目標については、少子高齢化の進行、新型コロナウイルス感染症の影響（経済環境の悪化等）をはじめ様々な社会情勢の変化が、一部の成果指標の実績値に影響が出ていることも要因の一つになっているものと思われる。

新たな「総合ビジョン」の策定にあたっては、外的要因や新たな時代の潮流を見据えつつ、これらに対応した内容となるように努めることが求められる。

- これらの振り返り結果を、新たな「総合ビジョン」における施策の検討（継続していく取組、見直しを行う取組、新たに必要な取組など）にいかしていくことが求められる。

また、施策によっては、成果指標を適切に設定できていないことから、実態を正しく反映していない場合も考えられるため、併せて、成果指標の必要な見直しについても、検討する必要がある。